色の錯視は、色覚の誤解を含むとき、誤覚、または色覚の変化を指す。正確な色覚は、色の正確な再現を可能にするため、色の調和と色の変換を考慮することが重要です。色の錯覚は、これらの色覚の変化を示し、色覚の変換を含む色彩学の一部です。

色の恒常性と2つの色フィルタ

色の恒常性は、色覚の変化を考慮するための重要な概念です。色の恒常性は、色の変換を考慮するために、色の変換の影響を受ける色覚の変換を示します。

色の恒常性と2つの色フィルタ

色の恒常性とは、色覚の変化を考慮するための重要な概念です。色の恒常性は、色の変換を考慮するために、色の変換の影響を受ける色覚の変換を示します。

色の恒常性とは、色覚の変化を考慮するための重要な概念です。色の恒常性は、色の変換を考慮するために、色の変換の影響を受ける色覚の変換を示します。
M. E. シュヴールル著
色彩の同時対比の法則とその応用
De la Loi du Contraste Simultané des Couleurs,
et de ses Applications.
par M. E. Chevreul.
Paris, 1839.

小林 光夫 電気通信大学名誉教授
Mutuo Kobayasi, Professor Emeritus,
The University of Electro-communications.

翻訳（2）

J. ベルセリウス氏へ、
個人に対する友情と深い尊敬の証として！
業績に対する賞賛の証として！
著者，M. E. シュヴールル。

まえがき
この著作は，私の人生の大部分を占めた学問分野と
と大いにかけ離れて，一見してまったく異なる
多くの主題が含まれているので，なぜ私がこの著作に
取り組んだのかを，読者に説明すべきだと思う。
なぜこれまで必要以上に範囲を広げざるを得なかった
かについては，後述することにします。

私は，王立製作所の色の責任者（所長）に任命
されてからも，それまで欠けていた染色技術の基礎
を確立する必要があると感じました。そして，正確な
誤差を行う必要に迫られました。多くの誤差が必要
することを予想できましたが，どのような種類の
誤差がいいか見当がつきました。この問題を解決する場
合については，私が独自の仕事を整理し，すべての契
約から自由になろうと望みましたが。

ゴブランの染色工房で作られた色に関して，寄せら
れた苦情の原因が何であるかを窺ってみようと，とくに
多かった苦情は，青と青みを含まずめ通りやすくし
たりすると不気味なというのであり，これは青や
紫の布を縫うために用いた黒の力強さの欠如に起
因すると，すっかり気づきました。この青や紫自体には欠
陥はありませんでした。フランスの国内外の著名な工
房で染色された黒のウールを入手し，ゴブランで染色
されたウールと比較すると，優秀な差は認められませ
んでした。そして，黒の力強さの欠如に対する苦情は，
縫接する色に起因することを発見したのです。これは
色の対比の現象です。そこで，染色の責任者として，
二つの課題に取り組む必要を感じました：第一は，色
の対比を，科学的な観点および応用から一般的に考
察することです。第二は，染色の化学的側面です。この
二つが10年間の研究の中心でした。これが公表され
れば，読者は，私が時間と労力を，あえて加える
なら苦労をも忘れて，読みかじいただけたらと思
います。「動物性脂肪物質に関する研究」と「有機分

1 Jina Jacob Berzelius (1779-1848)，スウェーデンの高名な化学者，いくつかの元素の発見，元素の原子量の決定，酸化の概念の確立，様々な科学用語の制定など，大きな功績を残した。
2 染色化学の分野を指す。シュヴールルはこの頃まで，この分野で業績を挙げた化学者であった。
3 ガリ・ゴブラン (Gobelin) のタダストリーやカーペットの製作者を指す。パリの北東部にゴブラン製作者，
4 Recherches chimiques sur les corps gras d'origine animale, Paris, 1823.

236